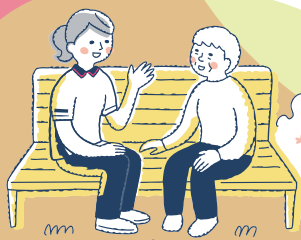
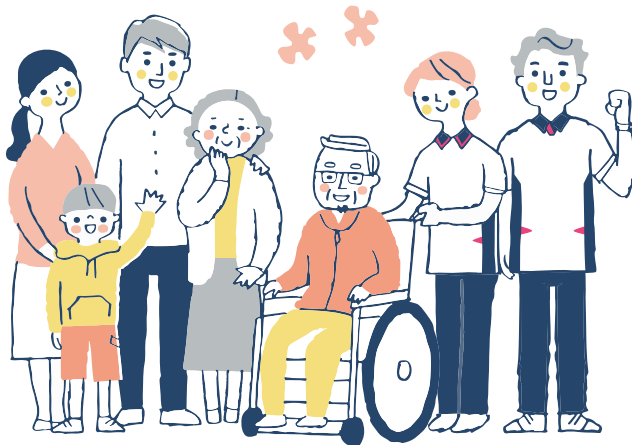




伊予病院グループ 看護介護部

IYO HOSPITAL RECRUIT GUIDE

募集案内



なりたい自分が
きっと見つかる。



総合リハビリテーション

伊予病院

伊予病院グループは、 「人」を大切に、人々の豊かな 暮らしづくりに貢献します。

伊予病院グループは、病院、老人保健施設、在宅事業部を運営し地域の医療・福祉を包括的に支え、グループに関わる全ての人の「幸せで豊かな暮らしづくり」を目指しています。中核である伊予病院は、多職種が協力して治療およびケアに当たるチーム医療を実践し、在宅復帰・社会復帰を目指す患者さんご家族を様々な面からサポートします。

病棟紹介



1F 外来

内科・リハビリテーション科・整形外科・神経内科・循環器内科の診療を行い、外来担当の看護師は小児から高齢者まで幅広い世代の診療介助に携わります。
多職種と連携し円滑な受診を心がけ、患者さんには思いやりをもって接し温かな対応に努めています。

2F 障害者施設等 一般病棟(72床)

何らかの疾患等で重度の肢体不自由や意識障害となられた方、神経難病に罹患された方、重度の障害をお持ちの方などが療養されています。年齢を問わず、医療的ケアと共に適切なリハビリ・機能訓練を提供し、生命および生活の質を保障する役割があります。

3~6F 回復期リハビリテーション 病棟(218床)

急性期治療を終えた患者さんに多職種が協働して集中的なリハビリテーションを提供し、自宅退院および社会復帰を目指していく病棟です。身体機能の回復と日常生活動作の再獲得、住環境や介護保険サービスの整備等、多方面から患者さんご家族をサポートします。



看護介護部

理念

私たちは常に「思いやり」と「いたわり」「優しさ」を持ち質の高い看護介護サービスを提供いたします

方針

1. 組織の一員として、病院経営に参画します
2. チーム医療における看護介護の責任を果たし、地域医療に貢献します
3. 専門的知識・技術を身につけ、安心安全な看護介護ケアを提供します
4. 働き続けられる職場づくりに努めます

メッセージ 看護介護部長 大森 里美

当院は、回復期リハビリテーション病棟を主体とした病院で、在宅復帰を目標に、集中的なリハビリテーションと早期からの退院支援を多職種一丸となって実施しています。
看護介護部では、リハビリ看護の専門性を追求し、患者さんの「暮らしの質」を重視した関わりが

できるよう教育体制を整えています。多職種の中でコミュニケーションスキルを発揮し、主体性をもって行動できる人材育成を目指しています。
「思いやり」「いたわり」「優しさ」を常に心がけ、患者さん一人ひとりに寄り添う看護を一緒に実践していきましょう。



教育 *Education*

専門性を高める充実した研修プログラムはもちろん、経験豊かな先輩看護師がしっかりとサポート。



教育理念

患者さん及びそのご家族のQOL向上を目指した、質の高い医療サービスを提供できる人材を育成する



教育目標

1. リハビリ看護・高齢者(老年)・終末期看護の専門的知識・技術を習得し、必要な看護が提供できる
2. 医療チームの一員としてよりよい人間関係を築き調整的役割ができる
3. 臨床上の問題、課題を研究的姿勢で解決することができる

育成したい看護師像

1. 臨床実践能力向上のため、常に自己研鑽することができる
2. コミュニケーションスキルを身につけ、患者さん・ご家族・医療チームでの人間関係調整能力が発揮できる
3. 問題解決能力・判断力を身につけ主体性をもって行動できる

新人教育プログラム

年度ごとにその年の教育スケジュールを設定し、看護介護サービスの質の向上に努めています。新人スタッフには部署全体でサポートし、一人ひとりが主体性をもって学びやすい環境を整えています。

4月	新人 オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ●施設の特徴や看護基準を知る ●1年間の目標を立てる ●交流会 	
	技術研修	<ul style="list-style-type: none"> ●看護記録の仕方 ●移乗とポジショニング、シーティング ●ケアの仕方(更衣、排泄、入浴、口腔、与薬介助) 	
<p>注射</p> <ul style="list-style-type: none"> ●注射、採血の知識と手技 ●輸血管理 			
<p>排泄</p> <ul style="list-style-type: none"> ●排泄管理(排尿・排便記録、尿道カテーテル) 			
<p>栄養</p> <ul style="list-style-type: none"> ●栄養管理と投与の仕方(経鼻栄養、胃ろう、食道ろう、静脈栄養) 			
4月 ▼ 5月	<p>呼吸</p> <ul style="list-style-type: none"> ●鼻腔、口腔、気管切開患者の吸引 ●酸素管理、呼吸管理 		
	NST活動を知る		<ul style="list-style-type: none"> ●褥瘡の予防と対応 ●リハビリテーション栄養、摂食機能療法 ●急変時の対応
9月	FIMについて知る	<ul style="list-style-type: none"> ●FIMとは、正しい評価方法 ●演習 	
	ケアプランを知る	<ul style="list-style-type: none"> ●作成手順 ●個別性を重視した看護計画立案、実践、評価 ●演習 	
	フォローアップ研修	<ul style="list-style-type: none"> ●交流会 ●悩みごとの共有 ●半年間の振り返り 	

キャリア開発

到達すべき看護スキルを段階的に設定し、個々の能力に応じた研修プログラムを組んでいます。

●キャリア開発ラダーシステム

より高いラダーを目指すことで、自主的なキャリア開発を促しています。



ラダー 1

- ① 基本的な看護基準に従い必要に応じ助言のもとリハビリ看護が実践できる。
- ② チームメンバーの役割を理解し責任を果たすことができる。
- ③ 自己の課題を助言のもと発見し自主的な学習に取り組むことができる。

ラダー 2

- ① 標準的な看護計画に基づき自立してリハビリ看護が実践できる。
- ② リーダーの役割を理解し、業務・ケアにおいてチームメンバーの支援ができる。
- ③ 自己の課題を明確化し達成に向けた学習活動を展開することができる。

ラダー 3

- ① 個別的なリハビリ看護が実践できチームメンバーに指導ができる。
- ② 自部署内でリーダーとしての責任を果たすことができる。
- ③ 自己の学習活動に積極的に取り組み専門性を高めることができる。

ラダー 4

- ① 幅広い視野で予測的判断のもとリハビリ看護が実践でき指導教育ができる。
- ② あらゆる場面でリーダーシップを発揮し多職種チームメンバーとの調整的役割を担い師長の補佐ができる。
- ③ 自己のキャリア開発に取り組み主体的に探究する姿勢でチームメンバーのロールモデルとなることができる。

看護臨床能力UP!

看護管理能力UP!



認定特定看護師

認定看護管理者

キャリアアップ

認定看護師をはじめとした、様々な資格を有する職員が在籍しています。多くの場合、入職後に働きながら資格取得を目指して勉強を積み、資格試験に臨みます。取得のためのサポートとして、研修費用の一部補助など、病院のバックアップもあります。

資格を取得した職員は、患者さんに提供する医療サービスの質の向上だけでなく、現場スタッフからの相談に応じたり、教育活動に参加したりするなど、多方面で活躍しています。



●当院の認定看護師、特定行為看護師

- 皮膚・排泄ケア認定看護師
- 創傷管理分野特定看護師
- 回復期リハビリテーション看護師
- 認定看護管理者

●その他保有資格

- 呼吸療法認定士
- POOマスター
- おむつフitter
- シクネイルケアセラピスト



仕事

Work

機能回復に向けた看護ケアを日々行っています。

一日の流れ

日勤の場合

- 8:30 **始業、モーニングケア**
 - 情報収集
 - 点滴、処置準備
- 8:40 **ミーティング**
 - リハビリテーション部と合同
 - 個別ミーティング
- 8:50 **看護ケア**
 - バイタルサイン測定
 - 注射、点滴、処置
 - 入浴
- 11:00
 - おむつ交換、更衣
 - 尿量測定
 - シーツ交換
 - 病棟訓練
 - 口腔ケア
 - 看護記録
- 12:00 **昼食介助、経管栄養**
 - 食事配膳、食後薬の内服介助



11:00~14:00の間に交代で昼休憩をとります。同僚とのランチや雑談などで午後の業務に向けてリフレッシュ。

- 13:30 **看護ケア**
 - バイタルサイン測定
 - 注射、点滴、処置
 - おむつ交換
 - 入浴
 - 病棟訓練
 - 口腔ケア
 - 看護記録

- 14:00 **病棟ケースカンファレンス**
- 15:00 **担当患者チームカンファレンス**
- 17:10 **終業**
 - 夜勤者との情報交換

1日2~3時間のリハビリの合間に入浴、病棟訓練、医療的ケア・処置も行うので、個々のスケジュール調整が大切です。

夜勤の場合

- 16:30 **始業**
 - 情報収集
 - 経管栄養、内服薬、点滴等の準備
 - 申し送り
- 17:00 **経管栄養**
- 17:40 **夕食介助**
 - 食事配膳、食事後の内服介助
- 18:30 **看護ケア**
 - バイタルサイン測定
 - 注射、点滴、処置
 - 口腔ケア
- 19:30
 - おむつ交換、体位変換
- 20:00
 - 眠前薬配薬、内服介助、眠前経管栄養
- 21:00 **消灯**
 - 看護記録
- 4:00
 - 経管栄養、内服薬、点滴等の準備

仮眠・食事休憩
21:00~交代で120分
巡回
おむつ交換、体位変換



福利厚生

Welfare

働きやすい職場環境を整えています。

リフレッシュ休暇制度

最長7日間の連続休暇

勤続1年以上経過した職員は、5日間の連続休暇(最長7日間)を取得できます。旅行や趣味を楽しむ他、家族や友人との時間をゆっくり過ごすなど、心身共にリフレッシュすることで仕事へのモチベーション向上に繋がっています。

敷地内託児所

夜間保育にも対応

子育て中の職員が安心して働けるよう、病院敷地内に託児所を設置しています。未就学児のお子さんを預けることができ、夜勤時も安心です。敷地内にあるので、急な発熱等の場合もすぐに駆けつけることができます。

勤務に合わせた短時間・祝日・日曜・夜勤帯の保育など安心して働ける環境が整っています。勤務中に子ども達が散歩や外遊びをしている様子を見かけることもあり、安心します。



出産・育児休業制度

産後パパ育休も推奨

出産・育児休業、短時間勤務等の制度を自由に利用できる環境を整えることで、復帰後も長く働ける職場作りを目指しています。男性職員の育児休業取得も積極的に推奨しており、多くの職員が利用しています。

産後パパ育休を利用して、妻の精神的、身体的負担を軽減できただけでなく、家族の生活リズムを崩すことなく過ごせたのがとても良かったと感じています。



その他

- 医療費補助制度(当院の外来受診時のみ)
- 確定拠出年金制度、財形貯蓄制度
- 制服貸与
- 職員用無料駐車場

サークル活動

日頃のストレス解消と、楽しく運動しながら職場の仲間とコミュニケーションを図る場として、多くの職員が参加しています。野球・ソフトボール、バレー、テニス、フットサル、マラソンのサークルがあります。



行事、交流会

楽しく参加できる行事や交流会を企画し、職員同士の交流を深めています。



運動会



納涼祭



忘年会



先輩からのプレゼント!

よいしょ!よいしょ!

踊りもバッチリ!

余興も楽しい!



伊予病院グループ



総合リハビリテーション
伊予病院

〒799-3101 伊予市八倉906-5
TEL:089-983-2222(代) FAX:089-983-1648

<http://www.iyohp.jp>

伊予病院



伊予病院 ISO 9001認証取得

